

汎用的教育コンテンツ利用実績紹介フォーム

1.利用情報

教育機関名	神奈川大学
学部・学科名	人間科学部
コース名・講座名等	基礎ゼミナール
対象学年・受講者数	1 年次 17 名 (講座等の履修登録者数を記載してください)
講座実施期間	2014年 9月 ~ 2015年 1月 (2年目:赤字は変更点)
利用コンテンツ名 (該当□をプルダウンで■にしてください)	<input type="checkbox"/> プロジェクト型システム開発チーム演習教育コンテンツ <input checked="" type="checkbox"/> パーソナルスキル(ロジカルシンキング)養成教育コンテンツ <input type="checkbox"/> ソフトウェア開発技法実践的演習教育コンテンツ <input type="checkbox"/> 情報セキュリティ実践的教育コンテンツ <input type="checkbox"/> 「要求工学を活用した問題発見と情報システムによる解決」実践的教育コンテンツ
コンテンツの利用形態 (該当□をプルダウンで■にし、必要事項をご記入ください)	1.利用したコンテンツ <input checked="" type="checkbox"/> ①シラバス <input checked="" type="checkbox"/> ⑥テスト問題と解答例 <input checked="" type="checkbox"/> ②講義スライド <input checked="" type="checkbox"/> ⑦ティーチングガイド <input checked="" type="checkbox"/> ③講義ノート <input type="checkbox"/> ⑧受講レポート <input checked="" type="checkbox"/> ④演習課題 <input type="checkbox"/> ⑨ソースコード <input type="checkbox"/> ⑤各種設計書
	2.コンテンツの利用方法について <input type="checkbox"/> 1.教育コンテンツ全てをそのまま利用 <input checked="" type="checkbox"/> 2.教育コンテンツの一部をそのまま利用 (利用範囲) 第1章~第14章
	<input checked="" type="checkbox"/> 3.教育コンテンツを改変して利用 (改変範囲) 問題解決①については、第9章と第10章とを合わせて実施した。

講座の全体構成(シラバス) ※単元ごとの学習項目、講義形態、コンテンツ利用の有無を記す			
	単元と時間配分(1コマ= 90 分で実施)	プルダウンで該当項目を選択してください	
	*短期集中講座の場合は、日単位で結構です	講義形態 (座学、個人演習、チーム演習)	単元ごとのコンテンツ利用の有無
1	ガイダンス	座学	無
2	ロジカルシンキングについて	座学	有
3	ロジカルシンキングの基本となる思考	チーム演習	有
4	ロジカルシンキングで使われツール①(Whatツリー)	チーム演習	有
5	ロジカルシンキングで使われるツール②(Whyツリー)	チーム演習	有
6	マトリクスの概要と活用方法	チーム演習	有
7	プロセスの概要と活用方法	チーム演習	有
8	問題解決①(問題発見・原因分析)	チーム演習	有
9	ロジカルシンキングで使われるツール③(Howツリー)	チーム演習	有
10	問題解決③(解決手段検討)	チーム演習	有
11	問題解決の実践(総合演習)	チーム演習	有
12	コミュニケーション(説明/説得)	チーム演習	有
13	ピラミッドストラクチャーの概要と活用方法	チーム演習	有
14	コミュニケーション(文書作成)	チーム演習	有
15	基礎力(リテラシー&コンピテンシー)測定	個人演習	無
特記事項			

コンテンツ利用の狙い・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を発信し、他の人の意見から学ぶことを経験する。 ・自分の意見を的確に、分かり易く伝えることを学びたい。 ・コミュニケーション能力を高めたい。
講座の位置づけ 学生の履修前提条件	<ul style="list-style-type: none"> ・初年次教育と専門教育との橋渡し。
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム演習を基本として、グループワークに適した机の配置及び議論をサポートする上級生(スチューデント・アシスタント)の活用を行った。

2. 講座実施後の情報

受講者の感想 (本講座で得られたもの)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を持ち、積極的に発言することが大切。 ・人の意見にも耳を傾ける協調性や参加しやすい場を作る責任感。 ・実際にツールを活用して試みる必要がある。
教員の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ロジカルシンキングのツールや考えを演習を通して学ぶことが出来る点で非常に良かった。 ・演習課題は学生に身近なテーマであり、グループワークにも熱心に取り組んでいた。 ・テストは講義開始時に復習テストとして実施した。
今後の展望 (継続に向けた課題)	<p>次年度以降もコンテンツを利用する。</p>